

- 主題名 安心して働ける職場環境の推進
- 教材名 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を目指して
- 人権学習の視点 個別的な視点「社会情勢の変化等により顕在化している人権にかかわる課題（安心して働ける職場環境の推進）」
- 主題・教材について

働く人が仕事をして、なおかつ時間のゆとりや充実感のある生活をしたと思うことは、人として当然の願いであり、権利である。しかし、日本の社会で長時間労働をしている人は多く、近年でも違法な過重労働や賃金不払残業、その背景にある職場でのパワーハラスメント等、それらに起因して発生している過労死や過労自殺等が顕在化して社会問題となっている。

「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」では、仕事と生活の調和が実現した社会とは、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」とされており、そのような社会の実現を目指した取組を、京都府も推進している。

こうした背景から京都府人権教育・啓発推進計画（第2次）は「社会情勢の変化等により顕在化している人権にかかわる課題」として「安心して働ける職場環境の推進」を挙げており、それを踏まえて本教材を設定した。

●ねらい

働く人に関わる過重労働等の問題と、その解消を目指す「ワーク・ライフ・バランス」の取組について理解を深め、すべての人が安心して働き、人間らしい生活ができる社会の実現に向けて意識を持たせ、将来への展望を広げさせる。

●関連する教材

人権学習資料集〈中学校編〉「13 男女雇用機会均等法」（第3学年用）

●本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○働く人の生活に関心を持たせる。	一斉	○2年生で行った職場体験を思い出し、印象に残っていることや感想を発表し合う。	○職場体験をしていない生徒には働く人について、今までに見聞きしたことを思い出させる。 ○働く人が喜びややりがいとともに、苦労やストレスも感じて生活していることに注目させる。	
	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の授業では働く人の生活に関わる内容の人権学習を行うことを知る。		

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具	
展開	○将来の自分の生活を想像させる。	個別 一斉	○ワークシート①（表）の1を記入する。 (社会人として働く25歳の自分の一日のスケジュールを想像して図に書き込む。仕事をしている時間と自分のしたいことをしている時間に色を塗る。)	○シミュレーションとして気軽に考えさせる。 ○数名に発表させ、仕事や自分のしたいことをどれくらいの時間しているのかに着目させる。 (したいことの例：趣味や習い事、人に会う、家族と過ごす等)	ワークシート①	
	働く人の過重労働の問題を知ろう。					
	○「過重労働」をイメージさせる。 ○過重労働の問題の理解を深める。	個別 一斉	○ワークシート①の資料A～Cを参考にして過重労働の影響を予想し、働く人が過重労働を続ける理由を想像する。 ○ワークシート②（表）を読み、過重労働の問題についての理解を深める。	○ここでの活動は「過重労働」をイメージさせるものなので、詳しい内容は求めない。 ○次の要点を押さえて説明する。 ・過重労働を続けていると強度の疲労やストレスから、健康障害のリスクが非常に高まる。 ・過重労働の問題は、立場の弱い労働者が陥りやすい。 (新入社員や経験が浅い労働者、人手不足の職場、雇用や収入が不安定な非正規労働者等) ・違法な労働環境は許されないことであり、改善されなければならない。過重労働の問題は社会全体で解決していかなければならない。 ○働く人の権利を保障する労働基準法等について社会科（公民分野）で学習している場合は、既習事項を思い出させる。	ワークシート②	
ワーク・ライフ・バランスの理念とその実現を目指す取組を知ろう。						
○ワーク・ライフ・バランスの理念とその取組の広がりを知る。	一斉	○ワークシート②（裏）を読み、ワーク・ライフ・バランスの実現が推奨され、取組が推進されていることを知る。	○働く人すべてが人間らしさを失うことなく、安心して働き続けられるような社会の実現に向けた取組であることを説明する。 ○働き方改革等では様々な視点から多方面の取組が計画されているが、ここでは長時間労働の解消によるゆとりのある生活の実現に焦点を絞って説明する。			

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展 開	○将来の希望や夢の実現には何が必要かを考えさせる。	個別	○将来の生活で希望することやかなえたい夢を挙げ、その実現のために、必要なことや社会に望むことを考えて、ワークシートに記入する。	○希望や夢を持ち、その実現を願うことは人間として当たり前の欲求であり、基本的人権として憲法で保障されていることを伝え、自由に表現できる雰囲気をつくる。	
		グループ	○グループで交流して、考えを深め合う。	○各グループで交流したことを発表させ、その内容をもとに、希望や夢の実現には「人間らしく心豊かに生きる」ことが必要であり、そのためにはワーク・ライフ・バランスが実現された社会をつくっていかねばならないことを確認する。	
ま と め	○本時の学習を振り返らせる。	一斉	○本時の学習を振り返る。	○本時の学習を通して、将来に向けて前向きな意志をもつことができたか、振り返らせる。	

●評価

働く人に関わる過重労働等の問題と、その解消を目指す「ワーク・ライフ・バランス」の取組について理解を深め、すべての人が安心して働き、人間らしい生活ができる社会の実現に向けて意識を持ち、将来への展望を広げることができたか。

平成 29 年度人権擁護啓発ポスターコンクール入選作品



京都府中小企業団体中央会会長賞
八幡市立男山第三中学校 2年
厚美 虹子 さん